



千葉明德短期大学 MAGAZINE 『月歩学歩』 2018年1月号



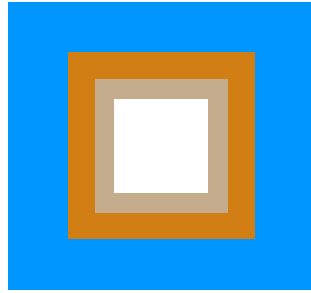
いい顔、素直な顔

口も目もご一緒に

手も足も笑うのさ

マスクしたって分かるよ

楽しかった君の心



# 1月号の内容

- ❖ 古山先生のフィールドワーク② 3
- ❖ 「保育内容演習」を終えて 4
- ❖ 「保育・教職実践演習」発表会を終えて 6
- ❖ めいとくはうたう 8
- ❖ スポーツ大会 10
- ❖ 学生委員会から 12
- ❖ 卒業パーティーのお知らせ 13
- ❖ 編集者後記 15

■表紙写真  
「あそび基礎演習」風とあそぼう（凧揚げ）

■編集  
深谷ベルタ、久保瑤子

# フィールドワークの報告(2)

## 古山 律子



### 「舞台芸術への招待」

以前、歌舞伎とバレエの鑑賞に関する報告を掲載させていただきました。今回は、その続編です。「舞台芸術への招待」のコースは、11月にプーク人形劇場での人形劇の鑑賞とワークショップ、1月に劇団四季のミュージカル「アラジン」の鑑賞を行いました。ただいま、最後のまとめのレポートを学生たちは仕上げています。それぞれの舞台芸術に共通するものは何か、それぞれに固有のものは何か、舞台芸術を創造するとはいかなることか、こんな難しい問いに一生懸命取り組んでいます。今回の月歩学歩では、主にプーク人形劇場での鑑賞とワークショップに関する報告をさせていただきます。

私たちが出かけた人形劇団「プーク」は、1929年に創立の歴史ある人形劇団です。鑑賞したのは、「くまの子ウーフ〜ふしぎがいっぱい〜」「がんばれローラーくん」の2本の作品です。人形劇専用の劇場は、こじんまりとした不思議な空間でした。家族連れも多く、約100人収容の劇場はほぼ満席で、劇の進行とともに「がんばれー」などの子どもの声がかかり、心温まる時間となりました。

鑑賞後、学生たちは劇団員の方と劇団で美術をなさっている方にフェルト人形作りと簡単な操作のワークショップをしていただきました。

劇場内で実施していただき、作成終了後には実際に舞台上がったり、装置を見学したりするなど、盛りだくさんな一日となりました。それぞれが工夫を凝らした思い思いの人形が誕生し、この人形たちは春から学生たちとともに保育の現場へ赴くことになるのでしょうか。今から子どもたちの反応が楽しみでなりません。コースを企画した担当教員としては、この貴重な経験が、学生たちの今後の糧となることを切に願っています。



# 保育内容演習 を終えて

1年生のみなさんは、短大1年目の授業も終え、今頃「保育実習Ⅰ」に励んでいる真っ最中かと思います。この1年を振り返って、みなさんはどのような学びが深まったと感じているのでしょうか？今回は、明德の授業の大きな柱である「保育内容演習」を取り上げて、各クラスの先生方に「1年間、どのような思いで授業を展開されてきたのか」、「担当クラスの学生へのメッセージや願い」についてお伺いしました。みなさんには、先生方の思いをしっかりと受け止めていただきながら、この1年間の自分の成長を振り返る機会にしていただけなら嬉しいです。

## ●小久保クラス

最終授業では学生達に、それぞれの一年間のまとめを書いてもらいました。その中で、ある学生が「グループのメンバーが成長・変容したと思うところ」について、こんなことを書いてくれます（部分改変）。

最初のレポート省察の時から何人かが積極的に手を挙げて発表しようとした記憶があり、

（略）みんなが意欲的に取り組んだから授業がきちんと成り立って実りある時間になったと思う。（略）レポート省察だけでなく模擬部分実習の際には、模擬でも全力で取り組み、最後にみんな改善点や良かった点を話す時、誰かが言うまで黙っているのではなく、次々に意見が出て、良い環境だと思った。学生自身で授業を創っていく時間はとても有意義であった。（略）

私自身、彼等が活発に意見交換をしてくれたおかげで、ある力を得ることができたように思います（あくまで「できたように思う」です）。それは「ファシリテーション能力」。その時その場で、彼等の意見を整理しそれらを「学び」に資する内容にまとめる…そんな力です。私にとってこの授

業は、緊張感はあるけれど、脳が高速回転し知性が高揚感を覚える「とても有意義」なものでした。上のコメントを書してくれたKの下さん（仮名）と同じように。みんなどうもありがとう。（小久保圭一郎）

## ●由田クラス

由田グループでは、記録に基づく振り返りの中で、その時々の子どもの姿からいろいろな解釈を試みることを大切にしてきました。当たっているかどうかはともかく、こうなんじゃないか、ああなんじゃないかといういろいろな考えを出してみる。そんなことを通して、自分の固定観念にとらわれず、見方を広げていくことができたと思います。最初は自分の意見を出すことにためらいがあり話し合いにならないこともありましたが、学び合う中で自分の考えを言える姿勢が少しずつできてきたと思います。

学生のみなさん！ 保育に唯一の正解はありません。問い続ける保育者への第一歩を踏み出せたかな。

### <学生の感想から>

・保育者の行動一つ一つ、立ち位置にさえ意図があることがわかり、保育者の背後からの援助の大切さがわかりました。

・自分なりに子どもの心情、保育者の思いを考えられるようになり、もし自分がその立場だったらどうしていたかなど違う立場、違う考えもできるようになりました。1年間を振り返ってみると、考え方が本当に変わったなと思います。（由田新）

## ●池谷クラス

私のクラスでは、幼稚園での生活のなかで子どもたちが日々育っていくのと同じように、学生自身も実習のふりかえりのなかで仲間と

話し合い、幼稚園での行事への参加を通して、自分の見方、考え方も毎月少しずつ変わっていくことに気づけるような授業を心がけました。実習では、同じ保育現場に身を置いても見えるもの、聞こえてくるものは、その人の経験や興味によって異なってきます。それをお互いに興味を持って聞き合う姿勢、お互いの考え方の違いをおもしろがるのができたらいと考えました。

保育内容で一緒に学んだ仲間とは、いわゆる授業での学びだけでなく、1人ひとりの良さや課題も含めて、人柄についてじっくり知り合う機会になったことと思います。みなさんが保育者になったときに、自分が担当するクラスの子どものことを愛おしいと感じるのと同じように、私もみなさん1人ひとりの1年間の変化の姿を似たような感情を持ってみてきました。私が伝えきれなかったことも多くあると思いますが、みなさんのことは継続して応援しています。2年生になっても頑張ってください！(池谷潤子)

#### ●伊藤クラス

私にとっては初めて担当する科目でしたので、はじめは不安もありましたが、一年を通してみなさんと共に授業を作ってこられたと感じています。実習レポートを用いた振り返りや部分実習を想定した模擬実習では、決して相手を言い負かそうというスタンスではなく、相手にとって学びとなるよう共に考えを巡らせる雰囲気がありました。これは、保育者となるにあたってとても大事な姿勢だと思っています。私も多くのことをみなさんから学びました。どうもありがとうございます。みなさんのこれからを応援しています。まずは保育実習ですね。一步一步積み重ねていこう！(伊藤恵里子)

#### ●久保クラス

私のクラスは、特に「子どもの気持ちや保育者・実習生の関わりについて多角的に考察する力を養ってほしい」という思いで授業を行ってきました。そのために、まず「考察と感想は何が違うのか」、「考察は何の為にするのか」を考える事から始めました。8名という少人数のグループだったので、毎回全員のレポートをじ

くりと読み合わせすることができたおかげで、お互いの視点の面白さに気づきながら、自分の視野を広げ、次回の実習につなげられたことが何より良かったと思います。回を追うごとに、深まっていくレポートを読み合わせながら、「さらに深めるためには」をみんなで探求したあの時間は、私にとっても貴重で学びの多い時間でした。

最後に。新任で右も左もわからない私と、1年間一緒に保育内容演習の授業を作ってくれて本当に感謝しています。アットホームな雰囲気の中でもしっかりとお互いに意見を言い合ったり、もらった意見を自分の学びとして吸収しようとする積極的なみなさんとだったからこそ、こんなに実りのある時間になったと思います。この1年間の学びを糧に、2年生になっても引き続き「考察力」を深めていってください。まずは、保育実習を乗り切って、みなさんが一回りも二回りも成長して帰ってくるのを楽しみにしています。(久保瑤子)

#### ●石井クラス

教育実習では、おおむね月に一回の体験や実習だけでなく、夏の祭りや宿泊保育、運動会、芋煮会、発表会など、季節ごとの行事にも参加させていただきました。様々な場面の子ども、そこにかかわる保育者の姿を垣間見ることで、濃縮された園の「生活の営み」を体験することができたのではと思います。

学生自身も初めは、戸惑いや不安を抱きながら、子どもたちに受け入れられることで、徐々に保育現場に身を置く幸せや楽しさを感じられた学生と、まだ未成熟な自身との狭間で葛藤と戸惑いを抱えた学生がいました。

授業では、保育内容や領域と絡めながら、学生のレポートの「エピソード記述」を重視し、特に自身の子どもとのかかわりのエピソードをどう省察・考察するのかをテーマに行いました。年間を通じて、文章の量が増えたり、言葉遣いが変わったり、自分中心の記述から子どもの内面を探ろうとする記述に変わったりなどと、皆に変化がみられました。この「変化」こそが「学び」であり、「成長」であると、互いに認められるようになればと思います。(石井章仁)

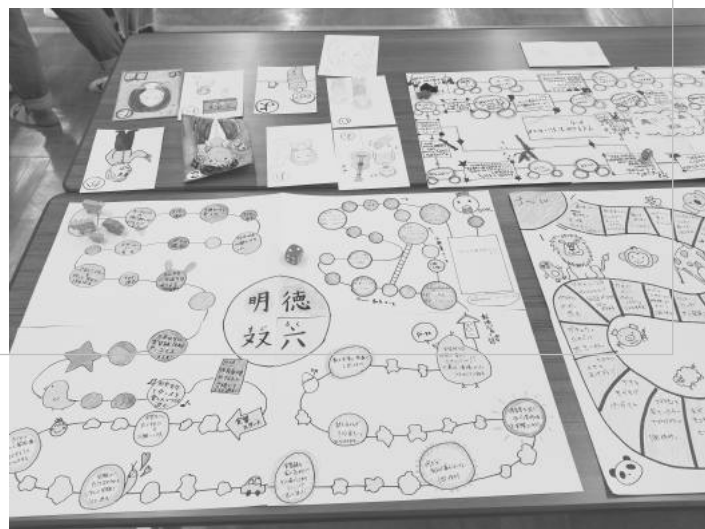
# 保育・教職 実践発表会を 終えて

## 池谷 潤子

保育・教職実践演習では、保育や福祉職など人とかわる現場において社会人となるために、2年間の実習体験、その他の体験からの学びを関連づける（つなげる）、2年間の学びの集大成となるような取り組みを行っています。（今年度シラバスより）

今年度は、いままでの実習記録を振り返り、考察を行う「ふりかえりコース」（石井先生）、自己課題を持って保育現場での観察実習、考察を行う「実践コース」（由田先生）、福祉の現場で働いている卒業生の話を聞き、現場を訪問、ボランティアに参加する「福祉コース」（加藤先生）、保育技能を高め、まとめる「技能コース」（池谷）の4コースに分かれました。1月に行われた「まとめの発表会」では、各コースで学んできたことを、ポスター発表、口頭発表、実践発表の3つの形式で他のコースの人たちに伝え学び合いました。「ふりかえりコース」では、すべての実習を終えたいま、自分自身の姿を客観視しながら自分が行ってきた

実習をふりかえり、「いま向き合うべき課題」について真摯に考えてきた姿がポスター発表から見えました。また「実践コース」では、観察の視点を絞って保育現場に入れて頂くことで、保育者による環境構成の意図、年齢による遊びの質の違いなど、2年生だからこそ深められた「保育を考える視点」についての発表がありました。「福祉コース」では、現場で働く先輩たち（卒業後1年目から数十年の方まで）のお話を聞き、人と向き合う真摯な姿勢に心打たれる学生たちの姿が多くありました。特に、昨年の春に卒業した先輩たちが仕事と向き合う姿からは、自分の1年後と重ね合わせながら考えることができたようです。



私が担当した技能コースは、45名の履修者が音楽、造形、言葉の分野について実践的な内容に取り組めるようにしました。全員が順番に「手あそび」「絵本の読み聞かせ」「パネルシアターの製作と発表」をすることを基本として、「あやとりの毛糸編み」「めいとくかるた・すごろくの作成」「私が選んだ10冊の絵本リストの作成」のほか、わらべうたとオルフ木琴の演奏、トーンチャイム、様々なフォークダンスなどに取り組みました。手あそびというと、活動を始める前や子どもたちが集まるときに楽しむものという印象がありますが、学生たち1人ひとりが歌いながら演じる姿から、手あそび本来のもつ楽しさとみんな一緒に行うことで一体感が感じられ、伝える側の意識や意図によって、表現の幅が豊

かに広がるものだと実感しました。また、絵本を丁寧に下読みして、絵本の世界を大切に伝えようとする学生もいて、とても素晴らしい読み聞かせをしてくれました。「めいとくかるた」では、明德短大にまつわる事柄について学生たちが読み札を考え、取り札の絵を描きました。2年間の実習体験、短大の雰囲気、教員の口癖など、学生らしいユーモアのある視点で「五七五」に落とし込み、発表会でのかるたとり大会で盛り上がりました。

明德で過ごした2年間のまとめとして、この授業での同級生の発表から学び、自らをふりかえることのきっかけを得て、卒業演習のレポートに繋がればと願います。





# めいとくは うたう

## 古山 律子

学生と教職員のコンサートは、8年目を迎えるでしょうか。最初にピアノの非常勤の先生方と一緒に学生向けのコンサートを開催したことが、懐かしく思い出されます。とてもささやかなコンサートでしたが、普段の授業とは違う演奏者としての先生方の姿に学生たちは魅了されたものです。専任の先生方も参加して下さるようになり、学生が加わり、系列園の方々が出演して下さることもあります。めいとくに集う仲間たちは、音楽好きで表現好きが多いものだとうれしく思うばかりです。今年度2回目のコンサートは、2年生が中心となり、数多くのエントリーがありました。ジャンルも幅広く、聴衆の皆さんの温かい姿勢もあって、この「めいとくはうたう」が学校生活に根付き、育ったなあ感慨深く思います。いつまでも、いつまでも、学校に音楽が溢れていることを心から願っております。







2017.12.1(土)19:00 演奏

1. 『アビスノクラウン・ソレイ』 小川あゆま・あかね・あまのり・あまのり・あまのり・あまのり 秋山D・ヒュー・アリス・ヒュー・ヒュー・ヒュー・ヒュー・ヒュー・ヒュー・ヒュー・ヒュー 五十嵐真由 山田真生 土田真生 土田真生 土田真生 土田真生 土田真生 土田真生 辻野悠里 佐藤ひろ 鈴木志保 藤澤千鳥 松尾美佳 山本明日香	14. 『ANOTHER DAY OF SHU』 映画『ラウラント』より 井出書雄 篠中幸子 小出一幸
2. 『いつも何度でも』 本村亨	幸祐紀
3. 『公家で遊び』『フェスタ・マリア』 Willan L. Black	井出書雄 篠中幸子
4. 『アビスの怪物の心』 亀井清介 伊藤大貴 山本明日香 花藤ひび 伊藤真生 山根雅雄 山根悠介 今村愛理 山口尚央 立川奈美 藤田舞乃 田中愛 吉谷真子	伊藤真生 山根悠介 山根雅雄 今村愛理 山口尚央 立川奈美 藤田舞乃 田中愛 吉谷真子
5. 『船のおおしん』 Richard Rodgers	橋本美穂子 高村純史
6. 『夜明けの音楽室』 コンナチ	比野博典 & 花
7. 『物色の鐘』 Willan L. Black	高田智代 立川奈美
8. 『1001 怪獣大戦』 George Gershwin	花塚彩晴 立川奈美 藤田舞乃 田中愛 吉谷真子
9. 『MY HEART WILL GO ON』 GleeCast	本村優美子 幸祐紀
10. 『舞の影』 アラム・ハチャトゥリアン	亀井清介 立川奈美
11. 『舞の影』 アラム・ハチャトゥリアン	藤田舞乃 立川奈美
12. 『THE ENTERTAINER』 Scott Joplin	小林彩帆 小川真由
13. 『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ニューヨーク』	
15. 『よさこい』 大・中・小	高橋彩花 長谷川彩花 清水夏菜 長谷川彩花
16. 『恋』 藤野雅	光崎麗花 三橋有美
17. 『L-O-V-E』 柳青	山本明日香 石川星世
18. 『ハロウィーン』 一青窈	
19. 『恋の恋』 Anton Karas	足立凡浩 藤谷日向子 伊藤真生 藤本静子 渡邊裕香
20. 『コン・ネ・クト』 第3楽章 4/4のVar. Code	吉田智代 秋葉聖也 堀内真直 神田高純 長瀬川楓夏 花島舞 尾形千尋 田中英志 立山優子
21. 『恋』	小久生生一 八谷瑠子
22. 『恋』 『恋』 『恋』 『恋』 『恋』	伊藤真生 山根悠介 山根雅雄 藤田舞乃 田中愛 吉谷真子
23. 『恋』 『恋』 『恋』 『恋』 『恋』	高橋彩花 飯田舞乃 藤田舞乃 立川奈美 高橋彩花
24. 『恋』 『恋』 『恋』 『恋』 『恋』	中尾真実 小辻千穂 飯田舞
25. 『恋』 『恋』 『恋』 『恋』 『恋』	関根優月 橋本美穂 高田智代 本村優美子 本村優美子 幸祐紀 立川奈美 藤田舞乃 田中愛 吉谷真子
26. 『恋』 『恋』 『恋』 『恋』 『恋』	亀井清介 伊藤大貴 藤澤千鳥 松尾美佳 山本明日香 立川奈美





# スポーツ大会

## 坂田将

12月11日（月）に、念願のスポーツ大会をようやく実施することができました。17時からという遅い時間帯の開催にもかかわらず、約60人の学生と学長を始め、先生方も参加をしてくださいました。

バスケットボール、バレーボール、ドッジボール、リレーを6チームの対抗戦で行いました。どの種目も、全てのチームが楽しみながらも優勝に向けて一致団結し、一人ひとりが全力を出し切っているように見えました。1年生と2年生が仲良くなれている姿も多く見ることができました。

総合優勝は〈青組〉となりましたが、スポーツ大会が終わった後、みんなから「楽しかった!」、「またやりたい!」という声を聞くことができ、実施して本当に良かったと強く感じました。明德短大では、1、2年生と一緒に何かをする機会がそれほど多くないため、このような行事を1、2年生と一緒に行うことで、授業以外でもお互いに話しやすくなると思います。

今回、スポーツ大会を通して、みんなの楽しそうな表情を見ることができたことが、スポーツ大会を企画した私にとって何より嬉しいことだと感じています。協力・参加してくれた学生の皆さん、また先生方、体育館を快く貸してく

ださった高校の先生方には本当に感謝しています。本当にありがとうございました。  
(バスケットボール・バレーボール・バドミントンサークル  
サークル長 坂田将)





# 学生委員会 から 冬の手遊び や歌を



年も明け、まだまだ寒い日が続きますね。  
二年生は卒業へ、そしてその先へ一歩踏み出す  
ために、日々慌ただしく  
過ごされていると思います。

そんな中、一年生は施設実習・保育実習が始  
まりました！

そこで、月歩学歩ではここぞという時に使える  
手遊び・歌を、  
今季節『冬』をテーマに紹介します！

## ◆ 冬の歌

- ・おでん
- ・せんべせんべ
- ・ごんべさん
- ・コンコンクシャンのうた
- ・ペンギンさんの山登り
- ・おもちつき
- ・ぶるぶる！

ごんべさんとコンコンクシャンのうたはなん  
と風邪の歌です！

気になった手遊びがあったら、ぜひチャレ  
ンジしてみてくださいね！

## ◆ 節分

二月の行事といえば節分！「鬼は外、福は  
内！」のかけ声で豆をまいて、  
歳の数だけ豆を食べるのがよく知られていま  
すね。

「その年の方角を向いて食べる」、食べ終わ  
るまで話してはいけない」など、様々ないわ  
れがある恵方巻も楽しみのひとつ！

節分の日には、子どもたちと一緒に廃材など  
で金棒、鬼のお面や角バンドを  
作って遊ぶのもいいですね！ぜひやってみてく  
ださい！

そんなよく知られている節分にもみんなで楽  
しめる歌を、節分だけでなく、鬼の歌も一緒  
に紹介します！

- ・鬼のパンツ
- ・豆まき
- ・おにさんだあれ
- ・おにはうちでひきうけた
- ・おにおに



# 卒業パーティー のお知らせ

久保 瑤子



\*写真は昨年度のものです。

3月15日（木）に現2年生（47回生）の卒業式・卒業パーティーが行われます。

<卒業式・卒業パーティー>

日にち：平成30年3月15日（木）

場所：京成ホテルミラマーレ6F「ローズ」

●卒業式

受付12：00～12：30 開式13：00 閉式14：35（閉式後、記念撮影）

●卒業パーティー

受付16：30～17：00 開始17：00

今年の卒業パーティーのテーマは「笑顔～夢に向かって～」です。

卒業パーティー実行委員長の坂田将さんを筆頭に、実行委員の皆さんが楽しい会になるように、準備を進めてくれています。一緒にパーティーを盛り上げてくれる有志団体もまだまだ募集中！！みんなで思い出に残る楽しい会にしましょう！（学生生活支援委員 久保瑤子）

# 1年生最後の「あそび基礎演習」





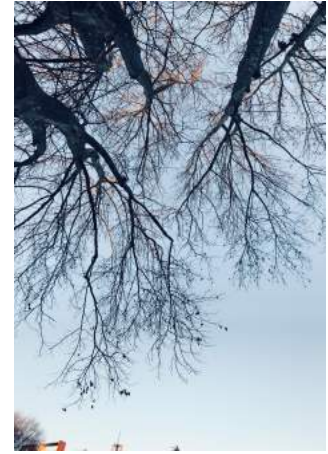
## 編集者後記

1年生の表現系授業である「あそび基礎演習」、そして最後の合同授業で見た学生達のはじけるようなパワーと生き生きした表情。その美しさを逃すまいと私は思わずスマホのカメラを機関銃のように連射しておりました。若い方であれば、恐らく自らあまり踊らない世界中のフォークダンスの数々。小さい子どもとも踊れるダンス。運動会で聞きなれた曲もあったかも知れないが、ここではそのような競技を気にせず、心身ともに楽しめた時間だったのではないのでしょうか。「伝統的」遊びや踊りや音楽等と聞くと多くの方が何となく「古くささ」を連想しがちになるような気がします。確かにヒップホップ等の踊りの方が今日的。でも、誰もが参加でき、簡単なルールの上で成り立つ伝統的「型」の上で成り立つ表現も実に美しく、平等且つ開放的で、捨てがたいものだと思います。(hb)





## ◀1月 明徳の自然



# 学事日程

1月

22日 (月) ~2月3日 (土)

❖ 保育実習Ⅰ (1年生)

2月

7日 (水)

❖ 保育実習Ⅰ事後指導 (1年生)

9日 (金)

❖ 学びの成果発表会 (1・2年生)

17日 (土)

❖ スタートアップカレッジ④

19日 (月) ~3月3日 (土)

❖ 保育実習Ⅰ (1年生)

22日 (木)

❖ 保育実践研究会

24日 (土)

❖ 保育実践研修会

3月

7日 (水) 8日 (木)

❖ 保育実習Ⅰ事後指導 (1年生)

15日 (木)

❖ 卒業式・卒業パーティー

## ▼4月開園予定のこども園

